

# ALSO

## (Advanced Life Support in Obstetrics)

### プロバイダーコース@仙台

主催：宮城県立こども病院

(平成 24 年度宮城県周産期医療従事者育成・再教育研修事業)

日程：平成 24 年 12 月 22 日 (土) ～12 月 23 日 (日)

場所：東北大学医学部良陵会館 (クリニカルスキルズラボ)

1. 本プロバイダーコースは、平成 24 年度宮城県周産期医療従事者育成・再教育研修事業の一環として企画されたものです。
2. 受付で名札と資料を受け取ったら、自分の名前とローマ字表記を確認し、誤りがあったらすぐお申し出下さい。登録された名前で合格後の認定証が交付されます。
3. 資料の中にアンケート用紙が入っています。レクチャーごとの評価、感想などを記録して、2 日目にお帰りになる前に必ず提出して下さい。
4. 受付で渡された名札は、お帰りになる前に必ずお返してください。
5. レクチャーや実技講習に欠席や遅刻するとプロバイダー認定資格がなくなりますので、ご注意ください。



## ALSO プロバイダーコース

～仙 台～



宮城県立こども病院

ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) は、米国家庭医療学会と米国产婦人科医会が1993年に正式に採用した分娩に関わる医療スタッフを対象とした、最新エビデンスに基づいた安全なお産のための講習会です。今回、「宮城県周産期医療従事者育成・再教育研修事業」の一環として、宮城県立こども病院主催により、ALSOプロバイダーコースを開催することになりました。

ALSOは心肺蘇生法講習会ACLSの産婦人科版に相当するものです。安全なお産は誰もが願っており、お産に関わる医療関係者にとって最も大切な使命です。しかしお産には本質として常に危険が潜んでいるため、日々更新される新しいエビデンスを取り入れた標準的なお産に関する知識と技術を体系的に学ぶことが重要です。そのための講習会がALSOです。

1991年にACLSとATLSを参考にして、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案しました。1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP—米国家庭医学会) によって認可され、現在、全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOを受講することが義務づけられています。また米国の家庭医レジデンシープログラムのうち、78%がALSOをプログラムに導入しています。さらにALSOコースは世界的にも普及活動が行われており、2009年現在までに50ヵ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了しました。

コースの教材は、シラバス(教科書)、レクチャー、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップです。筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースの終わりにあります。ALSOは分娩室における産科の救急的対処を強調していますが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれています。

プロバイダーコースは二日間にわたって行われます。妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、分娩後大出血、早産、前期破水、妊婦の蘇生法、そしてマタニティケアにおける安全性の8つのレクチャーがあります。少人数グループによるワークショップは、肩甲難産、胎位・胎向異常、鉗子と吸引、分娩中の胎児監視、症例検討の5つです。オプション・ワークショップとして会陰縫合、帝王切開、超音波検査、出産危機における両親への対処、そして新生児蘇生の5つから適宜行われます。プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は5年間有効の認証を受けることができます。プロバイダーコースのインストラクターになることを希望する場合、さらに一日間のインストラクターコースを受講しなければなりません。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約200名がALSOコースを修了しました。これまでの受講者は産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、そして医学部生などであり、現在あるいは近い将来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加しています。

産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実です。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちをトレーニングする場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要があります。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSOであり、今後日本で普及していくことを願ってやみません。

セミナー：ALSO プロバイダーコース@仙台

主 催：宮城県立こども病院

(平成 24 年度宮城県周産期医療従事者育成・再教育研修事業)

開催場所：東北大学クリニカルスキルズラボ〈良陵会館〉(次頁地図参照)

開催日時：平成 24 年 12 月 22 日 (土) 8:30~18:00

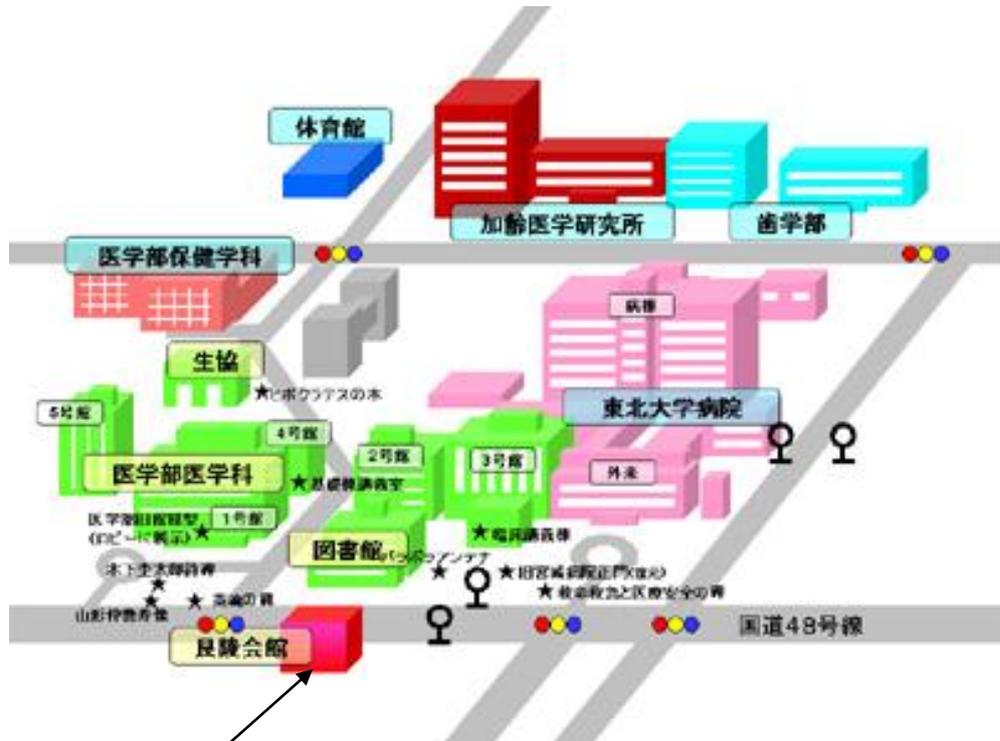
平成 24 年 12 月 23 日 (日) 8:30~17:00

参加費：15,750 円

定 員：18 名

※申し込みは終了いたしました。

会場案内図：



会場は、東北大学クリニカルスキルズラボ（長陵会館）となります。

ALSO プロバイダーコース@仙台 スケジュール

<b>ALSO-JAPAN 2011 in Sendai COURSE SCHEDULE</b>	
12月22日(土)	12月23日(日)
8:30 AM - 9:00 AM 受付	8:30 AM - 8:50 AM 受付
9:00 AM - 9:50 AM L: Safety in Maternal Care 妊婦ケアにおける安全性 (講義)	8:50 AM - 9:20 AM C: Vaginal Bleeding in Late Pregnancy 妊娠後期の性器出血 (講義)
9:50 AM - 11:00 AM H: Assisted Vaginal Delivery 補助経膈分娩 (講義と4グループに分かれてWS)	9:20 AM - 10:20 AM K: Maternal Resuscitation 妊婦の蘇生 (講義と4グループに分かれての実技講習)
11:10 AM - 12:20 AM I: Shoulder Dystocia 肩甲難産 (講義と4グループに分かれてWS)	10:30 AM - 11:15 AM 妊婦の超音波検査 (WS) 会陰裂傷縫合 (WS)
12:20 PM - 1:00 PM Lunch (ランチョン) A: First Trimester Complications 妊娠初期の合併症 (食事をとりながらの講義)	11:15 AM - 12:00 AM 会陰裂傷縫合 (WS) 妊婦の超音波検査 (WS)
1:10 PM - 2:40 PM J: Post Partum Hemorrhage 分娩後大出血 (講義と4グループに分かれてWS)	12:10 AM - 12:50 PM Lunch (ランチョン) D: Preterm Labor and PROM 早産と前期破水 (食事をとりながらの講義)
2:50 PM - 4:10 PM E: Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視と症例(2グループでディスカッション)	12:50 PM - 1:00 PM 全員で写真撮影
4:20 PM - 5:20 PM G: Malpresentations/Malposition プレゼンテーション異常とポジション異常 (講義と4グループに分かれてWS)	1:10 PM - 2:30 PM OB Cases & Medical Complications 内科合併症と症例 (2グループでのディスカッション)
5:30 PM - 6:00 PM F: 難産 (講義)	2:30 PM - 2:45 PM Rest 休憩と試験準備
	2:45 PM - 5:00 PM Written Examination & Megadelivery 実技試験, 筆記試験